

大伴家持生誕 1300 年記念
秋の特別企画展

家持が 見た薬草



『万葉集』の最終編者・大伴家持。
二十九歳の家持が越中国に国守として赴任し、
歌に詠んだ万葉植物は、
美しいだけではなかった。

平成29年

8月23日(水)



10月16日(月)



高岡市万葉歴史館

富山県高岡市伏木一宮 1-11-11

電話 0766-44-5511

開館時間 午前9時～午後6時(入館は午後5時15分まで)
休館日 毎週火曜日・8月21日(月)
観覧料 一般…210円 中学生以下…無料
65歳以上…160円 団体(20名以上)…170円

記念講演会 9月3日(日)午後2時～3時30分
『万葉集』と『延喜式』(越中・能登)に登場する生薬について

講師 小松かつ子教授(富山大学 和漢医薬学総合研究所)

会場:高岡市万葉歴史館・講義室 定員:先着120人

受講料:無料(観覧料は必要です)

※申し込みは、電話・FAX・メールなどで当館まで。

主催 高岡市万葉歴史館
公益財団法人 高岡市民文化振興事業団
協力 小松かつ子 富山大学(和漢医薬学総合研究所)
クラシエ製薬株式会社(漢方研究所)
富山県立図書館